

国際交流：学生の海外派遣成果の公表（2022年度）

(2023.11.1現在)

担当部署	プログラム名	主な留学先	派遣期間 (2022年4月1日～ 2023年3月31日の期間 に派遣を開始)	派遣者数	派遣目的	教育研究活動内容 [派遣事業の内容]	評価方法	成果 [認定単位数]
国際センター	協定校派遣留学 (長期公費交換)	アメリカ	8～10ヶ月	11名	本学と学生交換・派遣協定を締結している大学へ2学期間派遣する。 本学のグローバル人材を育成するためのプログラムとなり、派遣先国の言語を学ぶだけでなく、各自の専門分野に応じた専門科目を受講する。 留学により、海外の大学で専門知識を深く勉強し、異文化や異なる価値観に接することにより、国際的な視野をもち、主体的に活躍できるようになることを目的としている。	派遣地域の語学習得と共に一般科目についても履修することで、高いレベルでの語学運用能力と多様な知識を身に付け、更に現地での様々な国際交流を通し、グローバルな視野を身に付けた。帰国後には、留学報告会にて自身の留学体験を報告し、また帰国報告書の作成を義務付けており、本学HPに掲載している。	派遣先大学にて履修した科目の内、合格基準に達した科目について、授業時間数に応じ単位を認定する。認定単位数は、授業時間数1350分につき、講義・演習科目については2単位、実験・実技・実習科目については1単位として換算し、本人の申請に基づき学部教授会が承認した科目に振り替える。科目内容が両校で一致する場合には、科目間での単位認定を行う。各学期の認定単位数は22単位を上限とする。単位認定は、学部教務委員会の審議を得て、学部教授会にて行われた。	1～44単位
		カナダ		2名				
		タイ		1名	本学と学生交換・派遣協定を締結している大学へ2学期間派遣する。 本学のグローバル人材を育成するためのプログラムとなり、派遣先大学において、英語とタイ語を学ぶだけでなく、各自の専門分野に応じた専門科目を受講する。 留学により、海外の大学で専門知識を深く勉強し、異文化や異なる価値観に接することにより、国際的な視野をもち、主体的に活躍できるようになることを目的としている。			
	協定校派遣留学 (中期公費交換・私費)	アメリカ	4ヶ月	24名	本学と学生交換・派遣協定を締結している大学へ1学期間派遣する。 本学のグローバル人材を育成するためのプログラムとなり、派遣先国の言語を学ぶだけでなく、各自の専門分野に応じた専門科目を受講する。 留学により、海外の大学で専門知識を深く勉強し、異文化や異なる価値観に接することにより、国際的な視野をもち、主体的に活躍できるようになることを目的としている。			1～22単位
		カナダ		10名				
		韓国		4名	本学と学生交換・派遣協定を締結している大学へ1学期間派遣する。 本学のグローバル人材を育成するためのプログラムとなり、派遣先大学において、派遣先国の言語を学ぶだけでなく、各自の専門分野に応じた専門科目を受講する。 留学により、海外の大学で専門知識を深く勉強し、異文化や異なる価値観に接することにより、国際的な視野をもち、主体的に活躍できるようになることを目的としている。			
	春季短期留学	留学 (タイ、フィリピン)	3週間～8週間	18名	本学協定校を中心とした現地教育機関にて、派遣地域の語学（英語）を学ぶと共にその国の文化を体験することを目的としている。短期間の留学経験によって、関心の幅を広げ、自身の成長の機会へと繋げて行くことが期待される。	派遣地域での語学学習と共に現地の文化を体験することえ、異文化理解を深め、主体的に行動する力を身に付けた。	現地教育機関からの成績を元に授業時間数に応じ、1350分を2単位として換算し、別に定める各学部カリキュラム科目にて認定（R）される。単位認定は、学部教務委員会の審議を得て、学部教授会にて行われた。	2～6単位
	その他	NYインターンシップ	3週間～8週間	4名	英語圏長期留学派遣学生向けのプログラムとなり、帰国後スムーズに留学経験をキャリア形成に活かす力を身に付けることを目的としている。	日本のトップ企業をはじめ、世界の巨大企業が数多く進出し、ダイナミックに変化を続ける都市ニューヨークで、国際ビジネスを肌で感じ学ぶと共に、世界中の文化・社会・生活に触れることで、国際感覚を身に付けることができた。	35時間を1単位（インターンシップ）として換算し、修了証、報告書、週報を元に別に定める各学部カリキュラム科目にて評価される。単位認定は学部教務委員会の審議を得て、学部教授会にて行われた。	2単位